

これからの行事ご案内

地区交流会

県北地区交流会

期 日 10月18日(金)
会 場 大館市 ルネッサンスガーデンプラザ杉の子
研究主題 心身ともに健全なたくましい子どもたちの育成に向けて
 ～アフターコロナにおけるPTA活動～
講 師 秋田県北NPO支援センター理事長 浅利 博樹氏



中央地区交流会

期 日 11月8日(金)
会 場 男鹿市 男鹿観光ホテル
研究主題 「現代の子育て：親としての挑戦と学び」
講 師 男鹿市大龍寺 三浦 賢翁氏



県南地区交流会

期 日 11月22日(金)
会 場 大仙市 グランドパレス川端
研究主題 多世代で参加できるPTA活動を考える
 ～世代を超えた連携による子どもの健全育成に向けて～
講 師 大仙市教育委員会地域学校協働活動統括推進員兼
 CSディレクター 沢屋 隆世氏



※写真は昨年度の交流会の様子です。

第37回輝き会員(旧母親会員)交流会

期 日 10月16日(水) 13時～16時(予定)
会 場 秋田市 秋田県生涯学習センター
テーマ ～きびしさのなかに愛を、やさしさのなかに節度を～
研修主題 みんなちがってみんないい
 ～子育てはカラフル～
講 師 湯沢市家庭教育支援チーム 和輪人 後藤 孝氏



講師 後藤 孝氏

編集後記

会報第134号の作成にあたり、調査広報委員の皆さまや佐沢会長のご協力をいただきながら進めさせていただきました。今年度もこの会報を手にとられる方々にとって有益な情報やPTA連合会としての取り組みをお届けできるよう努めてまいります。またPTAの在り方として時代に合わせた柔軟な取り組みの必要性も議論されることが多くなりました。今年度のテーマでもある「持続可能なPTA活動」として、この会報を通じ皆さまのPTAで参考になる情報を提供できたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
 調査広報委員長 泉谷 悟



秋田県



高P連 会報 No.134

発行/秋田県高等学校PTA連合会 事務局/秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター5F TEL018(863)6681 印刷/秋田中央印刷株式会社

持続可能なPTAをめざして



明日につながる新しいカタチ

秋田県高等学校PTA連合会
会長 佐沢 かな子

この度 令和6年度の秋田県高等学校PTA連合会、会長を拝命致しました 秋田県令和高等学校PTA会長の佐沢かな子と申します。

会長という大役を仰せつかり、責任の重大さを痛感しております。至らぬ点もあるかとは思いますが、学校・家庭・地域・各教育行政機関の繋ぎ役として、三役、理事をはじめとする役員の皆様と事務局の力をお借りしながら会の運営を一生懸命努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

私個人の事を申し上げますと、長女が幼稚園の頃より関わらせて頂きました学校PTA活動も、二女が高校3年生となり、今年度で最後となります。今まで沢山の先生方や、周りの保護者の皆様にお世話になったことへの感謝の気持ちを込めて、この1年頑張りたいと思っています。

さて、秋田県においては少子化により、学校の統廃合が行われ、地域の活力である学校が無くなった地域もあります。子供達のみならず保護者や地域の方々も寂しさと不安を感じていることと思います。そこで、私達もこれまで以上に知恵を絞り、連携してPTA活動を元気に押し進めて行かなければなりません。また、PTAの在り方についても、新しいカタチへの変化が必要だと思います。持続可能なPTAとして将来につなげるためにも皆様とともに歩みを進めてまいりたいと思います。

最後に秋田県PTA連合会の活動が各校PTA間の更なる交流に繋がり、地域との懸け橋となり、子供達の将来が少しでも明るいものとなるよう皆様の御理解と御協力の程よろしくお願いいたします。

秋田県高等学校PTA連合会

令和6年度 定時総会開催

～母親委員会は「輝き委員会」に名称変更～



竹嶋会長あいさつ

5月31日(金) 秋田市のホテルメトロポリタン秋田を会場に、令和6年度の定時総会が開催されました。開会行事では、竹嶋会長の挨拶に続き、県教育長の安田浩幸氏、県校長協会会長の柘植敏朗氏(秋田高校校長)からご祝辞をいただきました。

表彰式では、長年PTA役員として学校や高P連に貢献のあった106名の皆さまが表彰されました。受賞者を代表して、小坂高校前PTA会長の藤井亮平氏が謝辞を述べました。また、令和5年度の県高P連広報紙コンクールに入賞した19校の表彰も併せて行われました。



来賓あいさつ(安田教育長)



来賓あいさつ(柘植校長協会会長)

総会では、議長に秋田中央高校PTA会長の目黒正樹氏、副議長に能代高校PTA会長の吉方清彦氏、議事録署名員に男鹿海洋高校PTA会長の阿部良美氏と横手高校定時制PTA会長の柴田竹美氏が任命され、令和5年度事業報告と決算、会則の改正、令和6年度事業計画と予算、令和6年度新役員についての審議が行われ、提案事項はすべて承認されました。



表彰式(感謝状贈呈) 代表 西仙北高校 進藤会長



会場全体の様子



受賞者代表あいさつ 小坂高校 藤井会長

地区協議会の再編に伴う整合性を図るとともに、母親委員会を「輝き委員会」とする会則の改正が行われました。

最後に、令和6年度の新たな会長、副会長、監事が登壇し、佐沢かな子新会長の代表挨拶のあと、新役員が紹介されました。

また、佐沢新会長から竹嶋前会長に感謝状が手渡され、退任される令和5年度の会長、副会長、監事が登壇してご挨拶をいただき、会場からの大きな拍手により、新旧役員引き継ぎが行われました。



佐沢新会長あいさつ



旧役員集合写真

その後、同会場で受賞祝賀会を開催し、受賞者を囲んで加盟校の新旧役員の方々と交流を深めました。また、昨年度まで3年間、事務局長として県高P連の活動を支えていただいた石井潔氏に感謝する場を設けたことで、和やかで温かい祝賀会となりました。



新役員のご紹介

役職 氏名
①所属高校
②好きな郷土料理



副会長 (総務委員長) 金子 宗元

- ①ゆり支援学校
- ②本荘ハムフライ



会長 佐沢かな子

- ①秋田令和高校
- ②祖母が作ってくれたキュウリとミカン入りの「あざづけ」



副会長 (健全育成委員長) 前田 周平

- ①大館国際情報学院高校
- ②だまっご鍋(きりたんぼ鍋も好きですが)



副会長 (進路対策委員長) 齋藤 正樹

- ①仁賀保高校
- ②笹巻、ハタハタ(一夜干し)



副会長 (調査広報委員長) 泉谷 悟

- ①横手高校
- ②いものこ汁



副会長 (輝き委員長) 菊地佐起子

- ①湯沢高校
- ②ハタハタ寿司、いものこ汁



副会長 (校長協会会長) 柘植 敏朗

- ①秋田高校
- ②ミズのたたき



監事 青山 真

- ①鹿角高校
- ②鹿角ホルモン



監事 本山 治

- ①新屋高校
- ②納豆汁



監事 高橋 啓伸

- ①横手清陵学院高校
- ②カスベの煮付け



理事・事務局

* 校長協会代表
○ 輝き委員会(旧母親委員会)代表

役職	学校名	氏名	役職	学校名	氏名	役職	学校名	氏名
理事	大館国際情報学院	畠山 学	理事	本 荘	甫 仮 貴 子	理事	能代科学技術	*藤原 孝一
	鹿 角	川 又 守		由利工業	三 船 明 子		秋 田 北	*高橋 周也
	能代科学技術	小 林 寛 志		大曲農業	鈴 屋 和 基		本 荘	*高橋 雄一
	五 城 目	鷲 谷 幸 平		大 曲	相 馬 基 文		大曲農業	*坂本 寿孝
	秋田明德館	吉 川 ひかる		横 手	伊 藤 俊 也		横 手	*佐藤 真之
	秋田令和	秋 本 絵里奈		増 田	鈴 木 真 理 子		能 代	○呼子 和香子
	御所野学院	伊 藤 寛 樹		湯 沢	高 橋 和 彦		秋田明德館	○高橋 留美子
	美大附属高等学院	樋 口 聡 子		大館鳳鳴	*深井 裕之			

事務局長 西村 充司 事務局員 佐藤 伸子

東北地区
高P連

第73回東北地区高P連山形大会 ～1,200人を超える参加により盛大に開催～

7月4日(木)から5日(金)にかけて、山形市「やまぎん県民ホール」で東北地区高P連山形大会が開催されました。「**見つめよう、HOME ～世界へはばたく子どもたちへ～**」をテーマとした大会には、東北6県から1,200名を超えるPTA関係者が参加しました。

開会行事では、主催者挨拶と来賓祝辞、新役員の紹介の後、表彰式が行われ、本県からは9名の皆さんに感謝状・表彰状が授与されました。また、東北地区高P連広報紙コンクールの表彰も併せて行われ、本県の秋田令和高校、大館桂桜高校、横手城南高校には、それぞれ奨励賞が授与されました。

研究協議では、「未来を生きる子どもたちを育むための家庭・地域・学校の連携の在り方」のテーマのもと、各県の代表者がそれぞれの学校のPTAの取組について発表しました。秋田県からは、秋田明德館高校PTAの吉川ひかるの会長が、「**“だからこそ”を誇りに～地域の思いを乗せ贈るエール/巡り傘ディスプレイ～**」の発表題で、学校祭でPTAが企画した「巡り傘ディスプレイ」が実現するまでの取組を中心とした活動を紹介しました。PTAだけでなく、生徒や地域住民を巻き込んだ活動に拡大していった様子は地域とともに歩むPTA活動の広がり大きな共感を得ることができた発表でした。

講演は株式会社 next is east 代表 マンジョット・ベティ氏の「**Designing the NEXT Japan**」の演題によるお話でした。クリエイティブに課題を解決するために、「Why?」で物事を考えよう。「メラビアンの法則(7%-38%-55%)」を意識しよう。興味を持って観察しよう。5感を使って生活しよう。人と人の出会いを大切にしよう。という5つのキーワードを紹介しながら、会場の聴衆にわかりやすく語りかけてくださいました。

来年のこの大会は、宮城県で令和7年7月1日(火)、2日(水)に開催されます。



オープニング 山形県民の歌「最上川」独唱



研究発表: 秋田明德館高校 吉川会長



高校生発表 天童高校ダンス部



来年度は仙台市で

祝

東北地区高P連表彰

<感謝状>

能代松陽高校	竹嶋美佳沙 氏
大館桂桜高校	川田 諭 氏
横手城南高校	照井 元 氏
高P連事務局	石井 潔 氏

<表彰状>

本 庄 高 校	金子 宗元 氏
十和田高校	高橋 宏行 氏
御所野学院高校	吉尾 千秋 氏
増田 高 校	齋藤 芳晴 氏
ゆり支援学校	細矢 朋明 氏

令和5年度 東北地区高P連 広報紙コンクール表彰

<奨励賞>

秋田 令 和 高 等 学 校
大 館 桂 桜 高 等 学 校
横 手 城 南 高 等 学 校

第1回理事会・合同委員会を開催

令和6年度の高P連活動のスタートとなる第1回理事会と第1回合同委員会が6月16日(日)秋田県生涯学習センターで開催されました。

定時総会で承認された三役、理事による理事会では、佐沢会長の挨拶の後、今年度の事業と当面の課題について協議を行い、共通理解を図りました。

全県の加盟校のPTA会長が集まった合同委員会では、全体会で佐沢会長の挨拶の後、今年度の事業について事務局からの説明、高P連の「秋田県高校生総合補償制度」について業務委託されている保険会社からの説明、生涯学習課より「あい」で見守る!あんしんネット事業」についての説明が行われました。

その後、各委員会に分かれて、今年度の委員会活動等について協議が行われました。今年度は佐沢会長から提案のあった自転車乗車時のヘルメット着用の推進や名称変更のあった「輝き委員会(旧母親委員会)」の活動等について熱のこもった話し合いが行われました。



総務委員会



健全育成委員会



調査広報委員会



輝き委員会



進路対策委員会

知事、秋田労働局長、教育長等による、県内経済団体に対する 新規高卒者の県内就職促進に関する要請



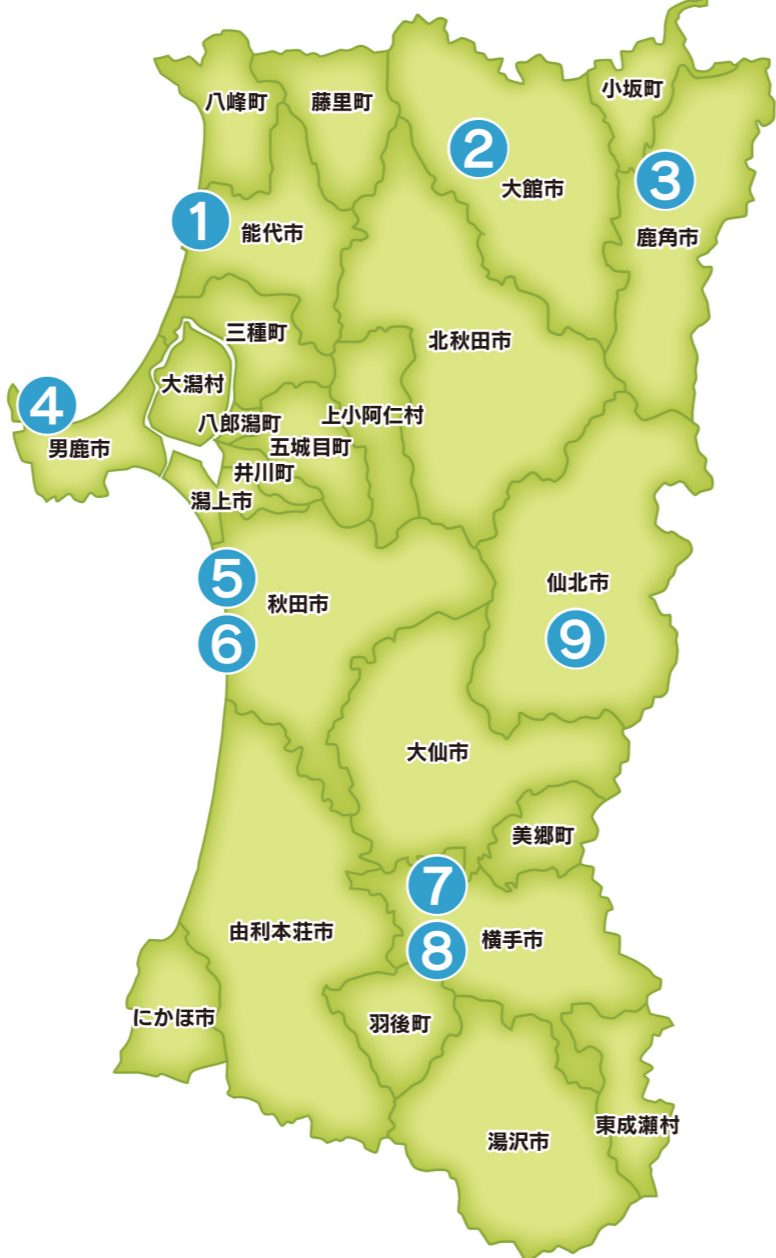
5月7日(火)に秋田県商工会館において、秋田県知事、秋田労働局長、秋田県教育長が、それぞれ県内の経済団体代表に対して今年度の新規高卒者の県内就職促進を図るよう要請書が手渡されました。県内就職を希望する高校生を代表して秋田商業高校3年生の羽川正治さんが県内就職を希望する高校生の雇用について支援をお願いしました。

高P連からは佐沢かな子副会長(当時)が出席し、就職後を具体的にイメージ出来るような企業側の情報発信を要望したことに対し、経済団体代表の方々から前向きな回答をいただきました。

全県PTA担当者連絡協議会を開催

加盟校のPTA担当の先生方が参加する全県PTA担当者連絡協議会が5月23日(木)に秋田県生涯学習センターにおいて開催されました。この協議会は、高P連事務局と各加盟校のPTA担当者が、今年度の高P連の事業について共通理解を図ったり、それぞれの学校のPTA活動の成果や課題を情報交換したりする会議で、高P連と各学校のPTA活動を円滑に進める上で大切な会議となっています。今年度も、全体会に引き続いて行われた地区別協議で参加者同士が十分な話し合いを持つことができ、今年度の活動について学校の枠を超えた交流ができ、有意義な会となりました。

周年学校紹介



1 秋田県立能代支援学校 創立30周年

本校は、平成6年4月に開校し、今年創立30周年を迎えます。

学校教育目標を「拓く～学校を開く、実践を拓く、子どもの可能性をひらく」の実現に向けて、交流及び共同学習の推進、学校行事等の公開、地域貢献活動等を推進しています。これまで、地域の皆様の知恵と御協力を得て、ミュージカル公演、介護職員初任者研修、特産品「白神ねぎ」の栽培、地域店舗でのカフェ実習、学校林活動など特色ある教育活動を創造してきました。

今後も、子どもの尊厳性を重んじ、愛情に満ちた教育を推進するとともに、保護者の皆様と手を携え、子ども達の可能性をひらき、確かな成長を促す効果的な指導に努めてまいります。



4 秋田県立男鹿海洋高等学校 創立20周年

本校は、平成16年4月1日に秋田県立海洋技術高等学校と秋田県立男鹿高等学校を統合し、県内唯一の普通科・水産科を併せ持つ総合制高校、秋田県立男鹿海洋高等学校として開校しました。「男鹿に学んで世界に羽ばたく生徒の育成」を教育目標に掲げ、体験を重視した実験・実習を推し進めています。男鹿地域産学官連携プロジェクトでは男鹿市や民間企業との連携、知的財産教育では「豊かな発想力を持ち、新たな創造ができる生徒」の育成を目指しています。また、地域みらい留学事業へ参加し、県外から本校に入学する生徒の発掘をするなど幅広く洋上風力発電事業等、新時代に対応できる人材の育成に取り組んでいます。



7 秋田県立平成高等学校 創立30周年

本校は平成6年4月、平鹿高等学校と横手東高等学校が統合して開校し、今年創立30周年を迎えます。「日新 又日新」(日々に新たに、また日に新たなり)の校訓のもと、社会の変化に主体的に対応し、自ら考え判断できる生徒の育成を目指しています。鳥海山を西に望む広大な田園地帯に立地し、自然の美しさと厳しさを四季を通して体感できる環境と、普通科及び総合ビジネス科を設置し、多様な進路希望に対応できるカリキュラムが本校の特色です。

以前は相撲部やバスケットボール部がインターハイに出場する等、輝かしい実績を残してきました。現在は、商業部が、全国高等学校ビジネス計算競技大会 秋田県予選で団体総合3連覇を果たすなど、躍進目覚ましいところです。

来たる10月5日には本校体育館において創立30周年記念式典、記念講演が実施されます。



2 秋田県立比内支援学校 創立50周年

本校は、県内初の全寮制養護学校として昭和49年4月に旧比内町立比内中学校西館校舎跡地に開校し、今年創立50周年を迎えました。校訓「健康」「誠実」「自立」を掲げ、地域と共に育ち、地域に感謝される学校づくりを推進しており、「自立と社会参加」を目指す教育活動に取り組んでいます。

創立50周年を迎え、児童生徒が考えた「未来へ広がり笑顔と絆の輪～50年の「ありがとう」とともに～」のキャッチフレーズの通り、お世話になった皆様にこれまでの感謝を伝えながら、笑顔があふれる教育活動を展開しています。



5 秋田県立秋田工業高等学校 創立120周年

本校は明治37年5月2日に工業技術者養成を目的に創立されました。「一人ひとりの人格の形成を目指し、秋田県や日本のみならず国際社会に貢献し、工業界の発展に寄与する人間の育成に努める。」を教育目標にして1学年、5学科6クラスの編成である。

120周年を迎える今年度はラグビー、硬式野球、バスケットボール、バレーボールの招待試合が生まれ、10月には記念式典と記念講演会が行われる。そして、「質実剛健」の校訓のもと、新たな伝統を築きあげていこうと教育活動を展開している。



8 秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校 創立20周年

本校は、平成16年に全国で初めて工業系学科のある公立中高一貫教育校として横手市に開校しました。文学と歴史の薫り漂う横手市の、大きく開けた横手盆地を見渡せる場所にあります。施設として太陽光発電や雪冷房システムを備え、276名収容の清陵ホールやメディアホール(図書館)も自慢の設備です。

2年次から、普通科は「グローバルコース」と「地域文化コース」に分かれて探究型学習を行いながら進路目標達成を目指します。また総合技術科は「機械コース」「電気情報コース」「建設コース」に分かれ、資格取得、新技術の開発や活用に積極的に挑戦しています。

創立20周年記念式典と講演会を10月12日(土)に行います。



3 秋田県立鹿角高等学校 今年度開校

本校は、花輪高等学校、十和田高等学校及び小坂高等学校の3校が統合し、令和6年4月に開校しました。「グローバル化の時代に対応できる広い視野と、持続可能な地域社会づくりへ参画しようとする高い志をもち、多様な人々と協働して未来を切り拓くたくましい人間の育成」を基本理念とし、普通科と産業工学科の2学科を設置しています。地域と連携したキャリア教育を通して、郷土への愛着を育むとともに、多様な進路目標に対応し、一人一人の能力と個性を伸ばすことを目指しています。

部活動は、運動部・文化部とも非常に活発で、スキー部、陸上競技部、ビジネス部などが全国大会に出場しています。また、家庭クラブでは、今年度、全国家庭クラブ研究発表大会へ出場しました。



6 秋田県立新屋高等学校 創立40周年

本校は、昭和59年4月に創設され、創立40周年を迎えます。「自尊 自知 自制」を校訓とし、「おらほの学校」として地域に根差した教育活動を行っています。「SSCプロジェクト」ではSDGsやSTEAM教育、アントレプレナーシップ教育に取り組み、「デジタル探究コース」ではプログラミングなどデジタル教育にも力を入れています。変化の激しい社会に主体的に関わり、よりよい社会の創り手となる人材育成を目指しています。

今年度は創立40周年を記念して、奈良県の智辯学園高校との野球招待試合を皮切りに、9月にはブラウブリッツチームとのサッカー招待試合、10月には記念式典、吹奏楽部による記念演奏会を行います。



9 秋田県立角館高等学校 創立10周年

本校は平成26年4月に秋田県立角館高等学校と秋田県立角館南高等学校が統合して新秋田県立角館高等学校として開校し、今年で10周年を迎えました。「郷土を愛し、この地域や国際社会で『棟梁ノ材』として貢献できる人材の育成」を教育目標とし、1年次から特別進学クラスの設置や第2外国語の履修、2年次からは多様な進路希望に応じたコース選択を実施しており、近年国立医学部医学科や難関私大へ複数が進学しています。

部活動も活発で、統合初年度の甲子園出場やスキーアルペン競技での全国優勝をはじめ、複数の競技でインターハイや東北大会に出場しています。今年度は女子弓道部が全県総体2連覇を達成しました。オリンピック選手やプロ野球選手も輩出しています。



高校生総合補償制度 - 傷害総合保険のご案内 -

大切なお子さまを学校が休みの日でも24時間365日補償します！

【お子さまのケガ、個人賠償責任、育英・学資・進学費用】

※自転車事故限定プランは補償内容が異なります。

手続きはWEBで簡単申込み！24時間いつでも、スマートフォンやタブレットからアクセス！

Point! 自転車搭乗中の事故が増えています

高校生総合補償制度では、ご本人のケガのほか、個人賠償責任補償で他人への賠償事故に備えられます。示談交渉サービス付(日本国内のみ)で安心です。

★★秋田県自転車条例にも対応★★



補償内容の詳細は、下記の2次元コードからご確認ください。



おトク 弁護のちからのご案内

いじめ・SNS被害・自転車との衝突による被害など

上記の法的トラブルにあった時の弁護士費用をサポートします。【弁護士費用保険金、法律相談・書類作成費用保険金】

▼「弁護士紹介サービス」**無料!**

▼「被害事故・嫌がらせ相談窓口」警察OB・OG等トラブル対応の専門コンサルタントにお電話でご相談

【お問い合わせ先】

●事務局
秋田県高等学校PTA連合会
TEL 018-863-6681

●事務幹事代理店

秋田県保険代理業協同組合 株式会社アキタ保険
秋田市山王6-5-9 TEL 018-864-6921 (平日9時~17時)

●引受保険会社

損害保険ジャパン株式会社 秋田支店秋田支社
秋田市大町3-3-15 TEL 050-3788-3553 (平日9時~17時)
S124-05902 (2024/8/9)

ヘルメットで命を守る!

お子様の自転車通学大丈夫ですか?
(ヘルメット着用努力義務に)



2023年4月から努力義務として推進されている自転車利用時のヘルメット着用率について、警察庁が行なった2023年7月時点の調査結果では、全国平均は13.5%、都道府県別みると最も高かったのは愛媛県の59.9%で、秋田県は全国3番目に低い3.5%だった。(2023年9月19日NHKニュース) 生徒の人命を守るという点からも、ヘルメット着用率の向上を呼びかける運動を今年度の活動として行なっていきます。